

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報



神戸の郷

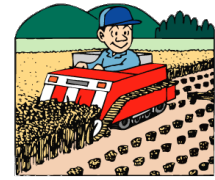
第五四号 平成二十八年秋

「発行」九月吉日 代宮家 (錦田)

今季の祭 立虫神社 秋祭り

今年もまた五穀豊穰の秋を迎えました。
秋祭りは、稲をはじめとする農作物が豊かに収穫できたこと、農業にはじまり、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々平和に暮らしていけることなどを氏神さまに感謝するお祭りです。
氏子一同が心を合わせてご奉仕する、一年で最も重要なお祭りです、「大祭」と

も呼ばれています。
本年もこの祭りが、賑々しく齋行できますよう御協力のほどをよろしくお願いします。



十月一日(土) 夕刻

一、前夜祭

- ・ 深津一統祭 午後六時より
- ・ 竹内一統祭 午後七時より

大正九年に立虫神社へと合祀された客神社にゆかり深い氏子である千家の竹内一統、古くから万九千社にゆかり深い神立の深津一統がこぞつて神社に参集します。
大祭の前夜にあたり、諸祭儀を恙なく齋行する旨を神々に奉告し祈念する、古式に則った厳粛な祭典を行います。

十月二日(日)

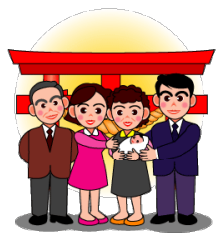
一、子禱神事

並びに氏子入り奉告祭

午前八時三〇分

平成二十七年の八月一日から今年の七月三十一日頃までに誕生された神立千家の子供さんとその家族がそろって参拝し、皆の健やかな成長をお祈りします。また、昨年の秋祭り以後、この地に住まいされ、新たに氏子への仲間入りをされた皆様にも御昇殿いただきます。

※当該の氏子さんは、礼を失しない平服(背広ネクタイ等)にて、時刻までに拝殿に御参集下さい。



一、大祭 祭典

午前十時より

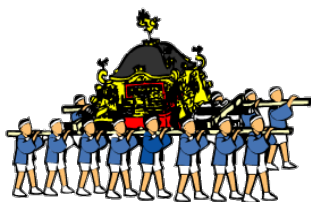
秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司以下の神主・氏子代表が昇殿し、古式に則って厳かに御奉仕します。

御神前にたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちをとお伝えして人々の幸を祈ります。 ※※お供え、お米当番の方は、当日午前八時半から十時までに、神社へお供えのうえ御参拝下さい。

一、御神幸 待練り神事

千家第一公民館にてお祭りの後、午後一時頃、神社へ向けて御神輿を中心とする行列が出発。午後五時半頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、氏子の暮らす



神立千家の地にお出ましになられます。皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。練り歩く行列の先導役は、猿田比古命。悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る番内さん。幸多かれと御神酒をふるまう茶立姫。無病息災を祈願し、恐い顔でゆっくりと進む御獅子。皆おなじみの顔触れです。主役の氏神さまは、神和会、千親会の会員をはじめ小学校一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。今年も、南回りの順路。夕方、神社へ到着すると、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになり、御獅子の拝が行われます。



一、神楽奉納

午後二時頃より、夕刻まで

奉納予定は次のとおりです。

記

・午後二時頃、出雲神楽

『清米(きよめ)』『山の神』

万九千社立虫神社神代神楽社中

・午後三時二〇分頃、御神楽

『浦安の舞(うらやすのまい)』

神立千家の氏子小学生女子有志

・午後四時頃、子供出雲神楽

『すさの命のやまたのおろち退治』

あい川保育園社中

・午後五時頃、出雲神楽

『八戸(やと)』 ※八岐大蛇退治

万九千社立虫神社神代神楽社中

一、餅撒き等

神楽が成就し日没にかけて

●餅まき

奉納協賛者／遠藤善夫、錦田剛志、神楽保存会

● 神事花倒しとその争奪、

授与 協賛／神和会・千親会
が行われます。

ここに、秋祭りは最高潮をむかえます。

ご多忙な氏子さんには、ぜひこの夕方、三時頃から御社頭に参拝なさるのがよろしいかと思えます。

氏子小学生

女子有志

『浦安の舞』

奉納

初舞台



この度、神立千家在住の氏子有志の皆様方により、浦安の舞にかかる巫女装束、舞鈴、髪飾りなど衣装、道具、保管箱など一式が奉納されました。

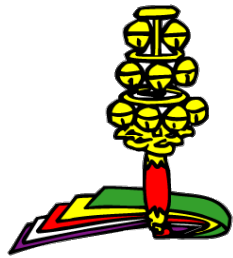
これはひとえに、募財に奔走なさいました矢野幹雄様、山根常男様をはじめ、趣旨に賛同し御浄財を献納いただきました氏子有志の皆様のおかげです。末長く大切に取扱いさせて頂いていただきます。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

御奉納者の皆様方の御芳名はおつて、御社頭をはじめしかるべき所へ掲示、掲載させて頂いていただきます。

誠にありがとうございました。

さて、当時神社

では、戦後に、御神楽の『浦安の舞』が奉納された記録は残っていません。少なくとも七十年以上にわたって途絶えていたようです。そんなまぼろしの舞が、氏子の小学三年生から五年生の女子有志十二名の皆様によりまして、復興する運びとな



りました。心から感謝申し上げます。今年の奉納予定者は次の子供達です。

【神立】

5年	杉原 空	さん
5年	常塚蒼生	さん
5年	新田ちひろ	さん
3年	石田蒼依	さん
3年	永瀬彩乃	さん
3年	濱村菜桜	さん
3年	深津 心	さん
3年	矢野優果	さん

【千家】

5年	多々納愛花	さん
3年	竹内綾菜	さん
3年	藤井麻衣	さん
3年	矢野菜々実	さん

皆さん、ありがとうございます。

子供達は、御家族の皆様のご協力によりまして、七月からおよそ一〇回ほど集まって稽古を重ねてきました。

来る十月二日の秋祭りには、いよいよ奉納の初舞台です。神様もきっとお喜びになることと存じます。

この御神樂が神社と共に末永く続きますようにお祈りします。氏子の皆様にもたくさん足を運んでいただきまして、子供達への応援と励ましをよろしくお願いいたします。

大切なお知らせ

「宗教法人立虫神社責任役員、氏子総代の交代について」

去る八月十二日、任期満了に伴います責任役員、神社総代（定員十二名、任期三年）の交代がありましたので、あらためてお知らせします。

（以下、敬称略）

○退任責任役員・総代○

松井 実 神立一

（平成25年8月～28年8月）

矢野正治 神立二

（平成元年8月～4年8月総代、

平成7年8月～28年8月総代、

平成13年8月～28年8月は責任

役員兼任）

山根常男 神立二

（平成16年8月～28年8月）

清水邦夫 神立三

（平成元年8月～28年8月総代、

平成4年8月～28年8月は責任

役員兼任）

神門時道 神立四

（平成22年8月～28年8月）

湯原信二 千家一

（平成13年8月～28年8月）

伊藤容行 千家四

（平成25年8月～28年8月）

◆新体制◆

総代長

矢野幹雄（責任役員） 千家二

副総代長

山根陽一（責任役員） 神立一

会計担当総代 竹内房雄（責任役員） 千家三

総代 遠藤善夫（責任役員） 神立三

矢野俊之 神立二

黒川 明 神立四

今川宏樹 神立五

影山 朗 神立二

小田川淳 千家一

坪倉良治 千家二

竹内浩二 千家三

竹内保徳 千家四

退任者の方には、御遷宮事業の完遂に向けて、長きにわたり神社の護持運営にひとかたならぬ御尽力を賜りました。あつく御礼申し上げます。ご苦勞をおかけしました。本当にありがとうございます。ございました。

新たに就任なさいました皆様には、矢野幹雄総代長のもと新体制にて、神々と神職と氏子との、そして祖先と子孫との「仲取り持ち」として格別の御奉仕をよろしくお願い申し上げます。

立虫神社の中殿、拝殿の改築改修も控えております。神社護持にかかる諸課題も多い中ですが、こころを込めて見事にお仕え申し上げます。

氏子各位の変わらぬ御理解と御協力をよろしく申し上げます。

（文責 宮司 錦田剛志）